

平成31年度 松ヶ崎小学校 学校経営構想

京都市の目指す子ども像

伝統と文化を受け継ぎ時代と自らの未来を創造する子ども

生きる力

・知「確かな学力」・徳「豊かな心」・体「健やかな体」

課題の共有

・子どもの実態・各種テスト・学校評価・地域の願い

自ら学ぶ力

自ら律する力

「伝え合う力」の育成

○国語科を中心に言語活動を取り入れた指導

・協働活動

○「かがやき」学習（総合的な学習の時間）の充実

○SSH事業の充実

・探究的な活動

○図書館教育の充実

・読書活動を支える指導

・読書ノートの活用

・公共図書館との連携

○ICTの活用

○発信・交流する機会

・学習発表会

・読書感想文

○個別の支援・指導

規範意識の育成

○3つの「あ」

・あいさつ

・あんぜん

・ありがとう

○ごめんなさい

○掃除の徹底

スリッパを揃える

教育環境の保障

○子どもにとって
最良の物的環境

「きれいな学校」

「きれいな教室」

○子どもにとって
最良の人的環境

・子どもの心に届く
指導と声かけ

・になりたい大人像を
示す

○言語環境を豊かに
・教職員の言語環境

・文字言語環境

(掲示板等)

・音声言語環境

(発表等の取組)

学校教育目標

豊かな心をもち

生き生きとたくましく

共に学び合い高め合う子

目指す子ども像

よく **か**んがえる子

かんばりやり通す子

やさしい子

きたえる子

- ・自分の考えをもち、相手に届くように語りきれ子ども
- ・筋道立てて考え、正しく判断して、行動できる子ども
- ・自分の力で、自分から、自分の目指すところまでやりきれ子ども
- ・自分を大切にし、他者を尊重し、力をあわせてがんばる子ども
- ・心身をきたえ、命を大切にする子ども

わかる喜び

学ぶ楽しさ

目指す教職員像

・一人一人の子どもを大切にする教職員

・子どものために一生懸命取り組む教職員

指導の徹底

質の高い集団

- ・十分な教材研究をともなった普通の授業 主体的・対話的で深い学び
- ・カリキュラム・マネジメントの視点をもって PDCAの展開
- ・自身が最大の言語環境であることを自覚し、正しく話す 書く
- ・各種取組の徹底 最後までしきること
- ・教職員同士の切磋琢磨：学級経営 教室経営
- ・日々の研鑽：授業公開 研修会の参加

学び続ける教職員

教職員の意識の高揚と指導力の向上

目指す学校像

・子どもが楽しく登校する学校

・家庭、地域と連携し、子どもを育む学校